

第22回HLA-QCワークショップ：抗体検査の評価報告

日本組織適合性学会 認定制度委員会 QCワークショップ部会

(評価の対象：抗体検出，抗体特異性の結果)

1、抗体検出評価 (評価点：100点) ※

①使用検査法

No.	Lab.ID	LCT	ICFA	MPHA	Flow PRA	LAB Screen	WAK Flow	LIFECOD ES	ダイレクトクロス	仮想クロス
H3005	30S42					○	○			○

②抗体検出評価

No.	Lab.ID	抗体検出評価			
		採点 (a)	評価対象抗原数 (b)	評価点 (a/b)*100	評価
H3005	30S42	6	6	100.0	A

○抗体検出評価のコメント

コメント

2、抗体特異性評価 (評価点：100点) ※

No.	Lab.ID	抗体特異性採点 (検体番号の下段が各検体の評価基準点(a)、その下段が報告結果から算出した点数(b))								評価点	評価
		Class I				Class II					
		SH3001	SH3002	SH3003	SH3004	SH3001	SH3002	SH3003	SH3004		
H3005	30S42	-	42.0	36.0	39.0	-	21.0	20.0	22.0	95.4	A

※評価点の算出：各検体の評価基準点に対する点数の比率 (b/a) を平均した数値

○抗体特異性評価のコメント

コメント

3、提出状況及び記入方法の不備など (コメントのみ)

No.	Lab.ID	コメント
H3005	30S42	2018/5/25

○評価のランク

評価点	評価	評価内容
80-100	A	良好
40-80>	B	要確認
0-40>	C	要改善

※ 評価対象外

抗体QCでは、スクリーニング試薬で抗体の有無を決定し、陽性であれば同定検査を実施するという基本検査フローを推奨してきました。
SH3001は、HLA以外の微弱なクロス反応の可能性があり、選択するスクリーニング試薬によって検査の流れが二分する事態が認められました。よって、妥当な評価が困難と判断し、評価対象外としました。